

出版情報

書名・件名	平成元年版 労働経済の分析
編集者・監修者	労働省
発行日	

「平成元年版労働経済の分析」(労働白書)の発表に当たって

現在わが国の労働力人口は、他国に例をみないほど急速に高齢化しています。

こうした状況に対応するため、企業における定年延長は昨今かなり進展してまいりましたが、高年齢者の雇用情勢は依然として厳しいものとなっております。

今後21世紀初めにかけて、人口の高齢化がさらに一層進展するものと予想されていることを考えますと、65歳程度までの高年齢者の雇用確保の問題は緊急かつ重要な国民的課題といえましょう。一方、サービス経済化や女子労働者の増加など労働力需給の構造変化を反映して、就業形態の多様化が進んでいます。

とりわけ、女子中年層を中心としてパートタイム労働者が顕著に増加しています。パートタイム労働者は今後も増加するものと思われませんが、その労働条件等について改善の必要が指摘される点もあり、良好な雇用形態として確立していくことが重要です。これらの問題は、個々の労働者が多様なニーズに合わせて安心して働ける、豊かで活力のある高齢者社会を築くために政労使がそれぞれの立場で協力して取り組むべき重要な課題です。

本年の労働白書では、高年齢者の雇用・就業、女子パートタイム労働の実態を明らかにするとともに、60歳台前半層を中心とした高年齢者の雇用機会の確保や女子パートタイム労働を良好な雇用形態として確立するための課題を探りました。

この白書が、高年齢者の雇用問題や女子パートタイム労働者の労働問題について、国民各層の理解を深めるための一助となれば幸いです。

平成元年7月 堀内 光雄 労働大臣
